

三井不動産株式会社

柏の葉スマートシティにおける実装 (実施期間：2019年～)

技術テーマ区分番号：⑳

主な実施場所：柏の葉キャンパス駅周辺（千葉県柏市）

連携実施者

□柏市、三井不動産株式会社、柏の葉アーバンデザインセンターが幹事を務める「柏の葉スマートシティコンソーシアム」は、国土交通省「Society5.0」の実現に向けたスマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクトに選定されました。

関連外部リンク先

■ 柏の葉スマートシティ <https://www.kashiwanoha-smartcity.com/>

取組活動の内容

概要

- 「柏の葉キャンパス」駅を中心とする半径2km圏の柏の葉エリアには、東京大学、千葉大学、国立がん研究センター東病院などの拠点施設が存在しています。近年では、東京大学柏Ⅱキャンパスに、国立研究開発法人産業技術総合研究所柏センターが設立されるなど研究機関の進出が進んでいます。「柏の葉スマートシティコンソーシアム」では、さらなる街の発展に向けて、人・モノ・情報が集まりやすい駅中心の圏域の特性を活かし、民間データ・公共データが連携したデータプラットフォームを構築し、AI/IoTなどの新技術の導入により、データ駆動型の「駅を中心とするスマート・コンパクトシティ」の形成を目指します。



イメージ図



今後の展開

- 今後は、柏の葉エリアで得られるデータを、データプラットフォームを通じてサイバー空間で分析活用を行い、自動運転、人流解析、環境負荷低減、健康活動促進等のサービス提供や発電効率化、病院診断の効率化などの社会課題の解決を図っていきます。また、今回のモデル事業の実証で得られた実績とノウハウを活かし、柏駅周辺等の中心市街地活性化や、三井不動産のまちづくりやアーバンデザインセンター（UDC）ネットワークを通じて他都市への展開を行っていきます。

